

南陽小人権週間の取組と人権集会

11月28日から12月9日までを、本校の人権週間に定めて、「自分の良さや成長に気づき、自己肯定感を高める」、「他の人の立場や考え方を大切にし、共に生きていこうとする心を育てる」ねらいを達成するために、様々な学習や取組を行いました。

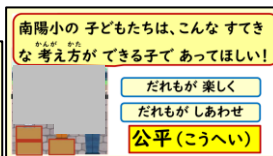
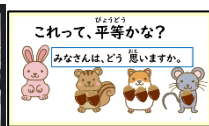
そもそも学校の教育活動は、どれも人権教育がベースであり、また人権意識と実践力を高める場でもあります。本校の人権教育目標は、『子どもの発達段階に即して、個人の尊厳を重んじ、偏見や差別を許さない心情と実践力をもった子供を育てる』としています。人権に関する正しい知識を身に付け、自分事として理解するように、また、人権感覚を高めるよう努めています。以下が、週間中に行った内容です。

<全校>挨拶、さんづけ、スリッパ並べ、ルールを理解し守ることの継続 ふわふわ言葉をつかう 人権集会
<学年・学級>人権に関わる授業の実施 人権標語、メッセージの作成



人権集会では、担当の増永教諭のファシリテートで、「なかよしじゃんけん」というアクティビティを行いました。相手の気持ちを考えて何を出すかを予想する、「あいこ」を目指すじゃんけんです。人権感覚を活動によって高める活動でした。

私からは、「平等と公平」というテーマで、「南陽小学校は、みんなが楽しい、みんなが幸せ」を大切にする公平な学校であってほしいことを伝えました。(スライド参照) 田原図書館司書は、人権がテーマのブックトークを行い、図書を通じた学びを呼びかけました。



三校合同門松作り

12月18日(日)、土井首中校区三校合同育友会主催の門松作りが実施されました。雪が舞うあいにくのコンディションでしたが、参加した保護者、子どもたちの作業によって、立派な門松が完成しました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

HPはこちら⇒[立派な門松ができました | 長崎市立南陽小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](https://nagasaki-city.ed.jp)

「コーチング」をご存じですか その4 長崎県教育センター公開講座佐藤敬子氏の講演資料より引用

4回目は、コーチングにおける効果的な質問(問いかけ)についてお伝えします。

①拡大質問: 答えが無限にある質問、相手が内面と対話する質問

「どんな〇年生になりたいの?」「あなたのアイデアを聞きたいです。」

②肯定質問: 否定質問は考えたくない「何で頑張れないの?」「どうして時間に間に合わないの?」

肯定「どうすれば頑張れる?」「時間を守るために何ができるかな?」

③過去より未来指向の質問: 前に向かって進むための問いかけ

未来「今からできることは何かな?」 過去「なぜすぐにしなかったの?」

④要望を引き出す質問

「どんなサポートがあれば助かるかな?」「今優先してほしいことは何かな?」

前回書いたように、「相手を認める」ことを前提にすると、上にあげたような質問になるのだと思います。

4年生 八郎岳登山の画像を追加しました。⇒[4年生 八郎岳登山 | 長崎市立南陽小学校 \(nagasaki-city.ed.jp\)](https://nagasaki-city.ed.jp)